

ASK ニュース

Vol.0208

2016年6月27日(月)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

EU 欧州連合

はじめに

先日、EUから英国が離脱すると国民投票で決まり注目を浴びています。そこで、改めてEUについて見てみたいと思います。

欧州連合（EU）とは

欧州連合（EU）は、その名の通りヨーロッパの各主権国家が、その主権の一部を他の機構に譲るという仕組みの共同体を作っています。EUでは英国を含め28か国加盟国がありました。

EUの歴史

ヨーロッパは、当時勢力を伸ばしていたアメリカなどに対抗して、ヨーロッパが勝ち残るためには、ヨーロッパが手を結ぶ必要があるという考えがありました。しかし、当時のフランス・ドイツの国境に大きな炭田・鉄鋼があり、この地を領有するために、国境紛争を引き起こし対立関係にありました。

そこで、1950年にフランスの外相シューマンが、紛争の種である石炭と鉄鋼を共同管理するというシューマンプランを提案した結果、ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体、ヨーロッパ原子力共同体が作られました。これが、EUのもとになっています。

リスボン条約

2004年に欧州憲法条約が署名されましたが、フランスとオランダで行われた国民投票で批准が否決され、改めて別の条約を作成しました。それが、2007年に調印され2009年12月に発行されたリスボン条約です。この条約の大きな特徴は欧州理事会の「常任議長」と「外務・安全保障政策上級代表」の二つのポストをおくことです。

単一通貨ユーロ

ユーロの構想段階から実際に流通が始まるまでには、30年近くかかりました。しかし、EU加入国全てには及ばず、自国通貨を維持している国が英国を含めて9か国あります。

また、ユーロを導入することによりギリシャ危機のように他国の影響を被るというマイナス面が大きく出てしまい、ユーロ導入国の成長率が低迷しています。

最後に

改めて、EUについて見たときに主権国家を一つにまとめるのは、非常に難しいことだと思いました。連合によるメリットもありましたが、デメリットも多く、今回、英国の脱退は、移民・難民の受け入れをしたくないのが大きな原因です。この英国のEU脱退は、世界経済に大きな影響を与えるので、為替や株の動きなど経済の動きを見ていかなければなりません。